

発信する 作り手の 可能性

参加費
無料

「つたえる」を前提に「つくる」

2024.08.27.(火) 15:00~17:00

場所 : 市役所庁舎 低層棟 1階 市民交流スペース
各務原市那加桜町 1-69

対象 : 主に市内企業 新規事業創造や企業変革に関心のある方

定員 : 80名程度 定員を超えた場合は市内企業優先

主催 : 各務原市・各務原商工会議所

問合せ : 各務原市産業活力部産業政策課

申し込みはこちら
8月22日締切



伝えることを前提にした物作り

新たなビジネスや魅力的な人材との出会いを生むために、製造業にも「知ってもらえる」ことが意識されるようになりました。しかし、闇雲に広報を行っても難しいのではないのでしょうか。

自身で企画した自社製品の販売を行いながらチャンネル登録者数26万人以上の人気YouTubeクリエイターと、様々な企業にとって転換点となるヒット製品を数多く生み出したデザイナーを招き伝えることを前提にした物作りやコンテンツ作りについて、具体的な事例を交えながらトークセッションを行います。



堀口英剛 (monograph / drip)

暮らしのモノメディア「monograph」編集長。2017年にヤフー株式会社から独立後、株式会社ドリップ代表取締役社長に。インフルエンサーと共に今の時代に寄り添い、愛せるモノづくりを行っている。代表作の2階建てバックパック「FLOORPACK」はMakuakeで9000万円以上の支援を達成。埼玉県出身、1990年生まれ。



青木亮作 (TENT)

クリエイティブユニットTENT共同代表/プロダクトデザイナー。製品企画からブランディングまで行い、象印STAN.、DRAW A LINE、フライパンジュウ、CHOPLATEなど、大手メーカーから町工場まで、各企業にとって転換点となる大ヒット製品を数多く手がける。ドイツのiF DESIGN AWARD金賞をはじめ、GOOD DESIGN AWARD BEST100、Red Dot Design Awardなど国内外のデザイン賞を数多く受賞している。

<https://tent1000.com>